

日本海ケーブルネットワーク株式会社（NCN）

2013年春季放送番組審議会議事録

■日 時：2013年3月26日（火）午後1時半～3時

■場 所：日本海新聞本社ビル6階会議室（鳥取市富安2丁目137番地）

■出席者

審議委員：福田京子（会長、鳥取県地域づくりセンター所長）、河村壮一郎（副会長、鳥取短期大学教授）、見生義明（鳥取市情報政策課課長）、米田真（三朝町企画観光課課副主幹）、田中衛（岩美町企画財政課課長）、佐々木千代子（サラベル鹿野社長）、牧田幸一郎（賀茂地域協議会長）、熊埜御堂晋（山陰合同銀行 鳥取営業部 副部長）

※役職は当時、敬称略、順不同

NCN：富長一郎（常務取締役）、吉田幹也（編成制作部チーフマネージャー）

■会長選出

協議の結果、会長人事は事務局が福田京子氏を推薦し、全委員が同意。副会長人事は会長一任となり、福田会長が河村壮一郎氏を推薦し、委員の同意を得た。

■報告事項

①平成24年度の取り組みについて

事務局が資料をもと2012年4月1日から2013年2月28日までの取り組みを報告した。

■協議事項

①放送番組の編成に関する基本計画の一部改訂について（自主放送チャンネル追加：減災チャンネル放送開始）

事務局が資料をもとに自主放送チャンネル追加および減災チャンネル放送開始に伴う放送番組の編成に関する基本計画の改定について説明した後、審議を求めたところ、全会一致で了承した。

②自主放送番組について

NCNのニュース番組「ピットステーション」のほか、年末番組「鳥取市庁舎整備の行方」「水門はひらいた」「NCN20周年記念座談会 地域づくりとCATV」「しゃんしゃん祭り一斉傘踊り」などを視聴し、意見を募った。

委員からの意見と事務局の回答は次の通り

（委員）色々な番組を放送しているなど感じた。どれくらいの割合で見られているのか。また番組のPR方法について聞きたい。

(事務局) 視聴率をとっていないので具体的にどれくらい見られているのかわからない。NCNでは繰り返し放送することによって幅広い年齢層や視聴形態に対応し、たくさんの方に見て頂きたいと考えている。PRは新聞、ホームページで行っているが、PR不足を認識。今後Facebookなどを使ってPRすることにより多くの方に興味を持ってもらえるよう取り組む予定。また反響があった番組については放送回数を増やすなど、より視聴頂ける取り組みをしたいと考える。

(委員) 知人に話を聞くとNCNの番組を見ている人は多い。わがまち百景などの地域を取り上げる番組は今後も続けてほしい。視聴率を上げるために特定の視聴者層に見てもらえる番組を作るのか、地域の特色を生かした番組を繰り返し放送することで浸透を図っていくのか。

(事務局) 基本的にはすべての視聴者層に見てほしい。そのために繰り返し放送することで接続率を上げ浸透させたい。また特定の視聴者層に見てもらいたい番組はその層にあった時間帯で放送する。編成を組み合わせることで対応したい。

(委員) デスク解説が聞き取りにくい。難しい話が多いので聞き取りにくい。

(事務局) テロップや、映像を組み合わせることで視聴者にわかりやすくしたい。

(委員) ケーブルテレビの理念を教えてほしい。これからの取り組みは。

(事務局) ケーブルテレビはエリアに特化した放送。20周年を機に改めて原点に立ち返り、地域の価値を高める番組を作りたい。

(委員) 番組で取り上げることで地域を活性化してほしい。実際に絵の展示会などは放送に取り上げられることで来場者が増えるなどの効果がある。そういった意味で地域においてCATVが果たす役割は大きい。

(委員) 再放送の希望があった場合どう対応しているか。

(事務局) 視聴者の要望による再放送はしていない。しかしこれからは視聴者の意を反映させた形で繰り返し放送できるよう検討したい。また、放送だけでなくオンデマンド放送も検討したい。

(委員) 教育の番組が充実しているが誰を対象として放送しているか。

(事務局) 教育の番組では学校であった行事などを取り上げており、その行事について子供たちがどう思ったのか、先生はどうしてその行事を企画したのか、参加した人はどうだったのか、など家族で話し合う契機にしてほしい。そういう思いでスタートさせた。

(委員) 今まででも県内のイベントにリンクした番組を作ってきたと思うが、来年度は都市緑化フェアがある。これらの全国的なイベントは盛り上げてほしい。

(事務局) 緑化フェアは前向きに取り上げたい。街の中にある緑のとらえ方について鳥取

県から新しいものが発信できればと考えている。

(委員) 鳥取市でデータ放送をやっているがデータ放送の内容と使われ方について聞きたい。

(事務局) データ放送の情報は鳥取市の行政情報、ケーブルテレビ局の情報、安心安全にかかわる情報が柱。災害時にはデータ放送が自動起動し視聴者に伝える機能や、集落毎に情報伝達ができる電子掲示板機能もある。

(委員) 鳥取市長の記者会見を取り上げてほしい。

(事務局) 来年度以降は取り組めることになったので取り上げていきたい。

(委員) 放送内容に誤りがあった時の対応について聞きたい。視聴者から指摘されたことはあるか。

(事務局) 誤りがあった場合は見つけ次第差し替えている。放送が終わった番組についてはデータ放送などで訂正のお知らせをしている。

意見が分かれた問題を取り扱う場合は視聴者からご意見をいただくこともある。

(委員) 地震情報は流しているか

(事務局) 震度4以上の地震についてはデータ放送でお知らせする。災害時の放送については行政と連携しケーブルテレビの役割を確認していく。

(委員) NCNの番組はオーソドックスで真面目な印象。ダイナミックというか違う傾向を持った番組も時には好まれるのでは。

(事務局) 幅広い視聴者層に対応できる番組を作りたい。

(委員) コマーシャルを流すにあたって基準はあるか。依頼を断ったことはあるか。

(事務局) CMについては内容を確認し判断している。公営ギャンブルについてお断りしたことがある。

(委員) 昔に比べてCMが多くなったように感じる。

(事務局) 自社CM多いそう感じるのかもしれない。

(委員) ユメイロも面白い。ターゲットは若者だと思うが、高齢者をターゲットにしてもいいかもしれない。

(事務局) 現在の番組は若い人をターゲットにしているが取り上げる職種に限界が来ている。